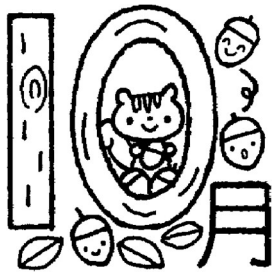


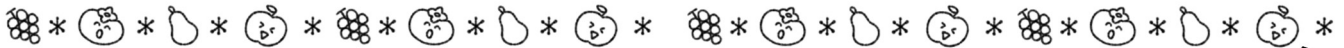
2021 年度



あひる組だより

尚徳福祉会 生麦保育園

この10月で、今年度の折り返しを迎えます。あひる組での園生活も半年を迎え、子どもたち同士の関りも増えました。新型コロナウイルス対策へのご協力をお願いする中ではありますが、引き続き子供たちの成長を見守り、毎日を大切に過ごしていきたいと思ひます。



子どもたちの様子

お散歩

生麦公園や、新貝の浜公園にお散歩に行きました。



お散歩に行くことを伝えると、はりきって靴下や靴の準備をする子どもたち。「できたー!」と自分でできるようになった子、「できな一い」と持ってくる子、つま先だけ足を入れて「うん、うん」と引っ張ってがんばる子。どの子もお散歩に行こうと一生懸命です。

準備ができると、バギーに乗る子と、保育者やお友だちと手をつないで歩く子に分かれて出発。途中で咲いている花や、犬や車がすれ違つと「みてみて、おはな」「ワンワンいたね」「かっこいい」と言葉が出ていました。

公園に着くと、広場を思いっきり走ったり、歩いたりどんぐりや落ち葉を拾ったり思い思いに過ごしています。新貝の浜公園では、トンボを見つけて興味津々に追いかけていました。



衣替え

まだ暑い日もありますが寒暖差も大きいので、半そで、長そでの使い分けや、子どもたちの体調管理にも気を配っていきたく思ひます。体を動かして遊ぶと汗ばむことも、あまり厚着せず、調整しやすい衣服をご用意ください。また、名前が薄くなつていふものや、名前のないものなどすべての持ち物への記名をもう一度ご確認ください。



梨とぶどうを作つたよ



8月に作つたお魚で、楽しそうに絵の具遊びをしていた子どもたち。今回は、クレヨンでくるくる、とんとん、模様を描いた画用紙に大きな刷毛で絵の具を塗つて、はじき絵にチャレンジしました。

保育者が刷毛で絵の具を混ぜ始めると、近くで「なんだろう」と不思議そうに見る子や、「やりたい」と手を伸ばす子、イスに座つてじーつと待つ子、様々な表現で楽しみにしている様子が伝わってきます。

刷毛を渡すと思ひきつて画用紙いっぱい刷毛を動かす子や、ちょんちょんと遠慮がちに塗る子、終わつても「もっとやりたい」と場を離れない子もいて、個性あふれる梨ができました。

ぶどうは、給食のデザートでも人気の果物。作り終わると「ぱくつ」と食べる真似をして遊んでいました。

手洗い

これからの季節、いろいろな感染症が増えてきます。

園では、戸外遊びの後や給食、おやつの前などに、泡タイプの石鹼を手へのせ「ゴシゴシ〜」と手を洗う習慣が身につけてきました。手を洗い終わるとペーパータオルで手を拭いています。しっかり拭くことはまだ難しいですが、援助しながら手荒れなども防いでいけたらと思ひます。

